



安全指導たより 1月号

令和7年1月

とうげこう あんぜん 登下校の安全について

みんなが安全に登下校できるように、地域のかたは、毎日見守っています。夕方には、おうちのかたが地域をパトロールしてくれています。まわりにいる大人は、みんなが外で危険な目にあわないように見守っています。その気もちに感謝しながら、自分で自分を守る力をつけましょう。

また、登下校のときに横断歩道や交差点に立ってくださっている地域の方に、感謝の気持ちを込めて「あいさつ」をしましょう。

手をポケットに入れて歩いている児童がいます。転んだときに危ないため、手が冷たいと感じたら手袋をしましょう。

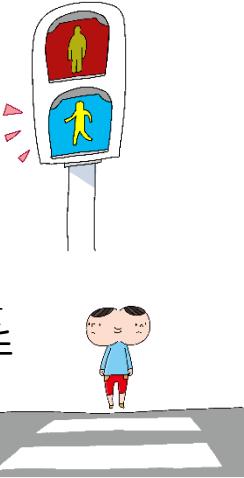
ぼうはん てんけん ○防犯ブザーの点検をしよう

防犯ブザーは、危険を感じたときにすぐに使えるように、ランドセルの肩ベルトのような「すぐに手が届くところ」につけておきましょう。

また、定期的に大きな音が鳴るかをチェックします。電池が切れていて、音が鳴らないということもあります。



○交通ルールを守ろう



1 信号が点滅していたら、次に青信号になるまで待つ。

2 横断歩道は、青信号のときに、右、左、右を見てから手をあげてわたる。

3 ふみ切りの音が鳴っているときに、遮断機をくぐらない。

○危険な場所には入らない

工事現場や資材置き場には、様々な機材が置かれています。それらにふれると、大きな事故につながることがあるので絶対に近づいてはいけません。

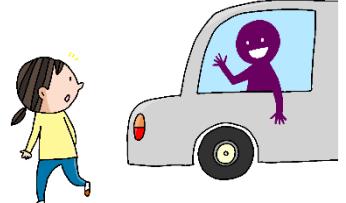
また、用水路、建物の屋上も落ちる危険があるので、遊んではいけません。

○防犯のあいことば「いかのおすし」

いかない



のらない



おおごえをだす



すぐに行げる



しらせる



いかない (知らない人についていかない)
のらない (知らない人の車には乗らない)
おおごえをだす (危険を感じたら助けを呼ぶ)
すぐに行げる (危険を感じたらすぐににげる)
しらせる (何かあったらすぐに知らせる)